

平成26年
3月号

2月25日発行



特定非営利活動法人 ワーカーズコープ

森下ふれあいセンターだより (森下分館)

住所:江東区森下5-11-1 電話番号:5624-6030
開館時間:午前9時~午後5時 休館日:第2・4日曜日
ホームページ:<http://kotoroufuku.web.fc2.com/>

3月 東京の哀悼記

●空襲の日と「リンゴの唄」のこと

大東亜戦争の末期、昭和20年3月10日は東京に大空襲があった日。10日未明から334機のB29が来襲して爆弾や焼夷弾を投下し、本所・深川・浅草など下町地域を中心に、一夜にして40平方キロメートルの町が焼失し、そこに暮らす約10万人の命が奪われた。東京が初めて空襲を受けたのは昭和17年の4月、20年の1月から爆撃は本格化し、4月、5月にも大規模な空襲があった。戦後初めて製作された映画「そよかぜ」（昭和20年10月公開）に主演し、その主題歌「リンゴの唄」で長い間多くの人々に愛された歌手・並木路子さん（1921年～2001年）は、当時戦時体制によってそれまでの松竹少女歌劇団（SSK）が解散して再編成された「松竹芸能本部女子挺身隊」の幹部俳優で、浅草にお母さんと2人で暮らしていた。その夜、目覚めると家の周りは火の海だった。お母さんと家の人々が留守だった隣の家の男の子（小学1年）の手を取って、燃えさかる町の中を隅田川へ向かって避難した。途中、幼い男の子を川に入れることはできないと判断し、鉄工所のグラウンドに置いて、大人の人に助けを求めようと言って別れた。走ってたどり着いた隅田川では、船が燃え、川面にも火が付いて燃えていた。危険を冒してお母さんとともに水に飛び込んだ並木さんは、すぐに気を失った。「つかまれ」という声に気が付くと、誰かが手を取って岸へ引き上げてくれたので命を取りとめた。しかし、お母さんとは離れてしまった。空襲が済んだ翌朝、無残な焼死体が横たわる焼け跡の中を歩いて家に帰った。家は跡形もなく焼け落ちていたが、隣の男の子が帰って来ていた。焼け跡で男の子とともに別れたお母さんを待ち、川沿いを捜し歩いたが母の行方は分からなかった。男の子を連れて郊外に住む親戚のもとに身を寄せているうち、並木さんの所属会社・松竹から連絡があった。芝の水上警察から、会社関係者の家族らしい遺体があるので確認しに来てほしいという知らせがあったとのことだった。並木さんが遺体安置所になっていた増上寺に行ってみると、おびただしい数の棺が並んでいた。警官に案内された一つの棺には、松竹のマークがついた給料袋が乗せられていた。棺の中の遺体は並木さんのお母さんだった。お母さんは、並木さんが毎月渡す月給袋を封も切らずにいくつもさらしの胴巻きの中にはさんで大切に身に着けていたのだ。だから、遺体となったけれど再会できた。並木さんはお母さんを助けてあげられなかった自分を責め続けた。敗戦後には、軍属として動員されていたお父さんと「2・26事件」の部隊の下級兵士として長い間徴兵されていた2番目のお兄さんの戦死の知らせが相次いで届いた。結婚を夢見ていた初恋の男性が特攻隊として戦死したことは、戦後4年経って出撃前に並木さんの存在を打ち明けられたという恋人の戦友から伝えられた。それでも並木さんは、恋人が生きていることを信じて何年も待ち続けた。3月10日は空襲によって命を奪われた方、肉親を亡くされた方、孤児となり、幼くして苛酷な人生を歩まれた方、障害を負われた方など、大勢の方々に苦しみと悲しみがもたらされた日である。明るくて楽しい「リンゴの唄」は、悲しみをこらえ、苦しみに耐えて戦中・戦後を懸命に生き抜いた大勢の大衆の明日への希望と平和への祈りが込められた歌である。（SHしるす）

森下ふれあいセンター 3月の予定

健…健康相談 1,3水曜 1:00~4:00 ●…事前申込が必要な行事など
印がないものは受講生確定済みの為、受講生以外の参加は出来ません。

日	曜	午 前	時間	午 後	時間	健	
1	土			● シネマ倶楽部	1:30		
2	日						
3	月						
4	火						
5	水					健	
6	木						
7	金			日本文学	2:00		
8	土						
9	日	休 館 日					
10	月						
11	火						
12	水						
13	木						
14	金						
15	土			● シネマ倶楽部	1:30		
16	日						
17	月						
18	火						
19	水					健	
20	木						
21	金						
22	土						
23	日	休 館 日					
24	月						
25	火						
26	水						
27	木						
28	金						
29	土						
30	日						
31	月						